

## 特集2 岐阜大学同窓会連合会設置記念式典を挙行

岐阜大学では、6月1日の開学60周年記念と同時に「岐阜大学同窓会連合会」が発足し、9月5日(土)、医学部記念会館において設置記念式典が盛大に開催されました。

式典に先立ち、本学管弦楽団による金管五重奏が館内に響き渡り、式典では初代会長である後藤悦男氏が「各学部同窓会の独立性を尊重し、全学協力体制で推進していく」と期待を込めてあいさつされました。

また、黒木前学長らからの祝電披露の後、森学長が「法人化以降の大学運営は、運営費交付金が年々削減されるといふ厳しい状況下であり、同窓会連合会の母校への協力と支援がますます重要になってくる。本学は『学び、究め、貢献する岐阜大学』という理念の下に、地方大学のトップランナーをめざすためにも、同窓会の皆様のご支援が必要不可欠である」と熱く述べました。

### 会長あいさつ

岐阜大学同窓会連合会 会長  
後藤 悦男

母校・岐阜大学は、平成21年6月1日に開学60周年を迎えました。この創立60周年の佳節に、岐阜大学同窓会連合会が発足いたしました。ここに岐阜大学同窓会連合会設置記念式典が開催できましたこと、皆様と一緒に心からお祝いし、お慶び申し上げます。本式典にはご多用の中、大勢の皆様のご臨席・ご出席を賜りましたこと、誠にありがたく、心からお礼申し上げます。

私事でございますが、6月1日開催の岐阜大学同窓会連合会設立総会において会長を拝命いたしました。もとより微力ですが、母校・恩師・先輩への感謝・報恩の心で奉仕いたしたく存じますので、皆様のご指導・ご協力・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

昭和57年4月、岐阜大学統合移転を機に、教育学部・農学部・工学部・医学部の各同窓会は記念事業実施のため「岐阜大学同窓会協議会」(以下「協議会」)を組織し、会員の寄附金で同窓会館(現:柳戸会館)を建設して大学に寄贈しました。平成16年度の国立大学法人化から岐阜大学の運営も改革され、その変革に適合する同窓会の役割が必要となりました。さらに、これら4学部同窓会に、平成13年に地域科学部および平成17年に医学部看護学科の2同窓会が加わりました。

平成18年・19年には、黒木学長からのご要請もあり、岐阜大学全学同窓会設立準備会設置の検討会を開きました。続いて平成20年から森学長からのご要請もありまして、工業倶楽部の磯貝会長を委員長とする岐阜大学同窓会連合会設立準備委員会、および檜和田教授を委員長とする同実務担当部会の協議会が数多く開催され、私も委員として務めさせていただき準備作業に携わって参りました。本年6月1日をもって協議会を発展的に解消し、そして、その継承という位置づけで、岐阜大学創立60周年の機に連合会が発足した次第です。ここに、昭和57年以来、協議会・連合会の設立の準備・運営にご尽力された関係各位に心から慰労と敬意を捧げます。そして、設立準備委員会および実務担当部会の皆様、本学総務部の事務局の皆様にも深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

岐阜大学の各学部創立以来、われら多望の青春時代を共に学び、鍛え、遊び、社会・国家に役立つ人材に育った同窓生は現在6万余名を数えます。われら同窓生が、産・官・学・消(消費者)の各界・各分野で立派な素晴らしい活躍をされ、地域社会・産業・国・世界人類に多大の貢献をされてこられましたことに心から敬意を表します。

秀峰の金華山と岐阜城を東に仰ぎ、長良の清流を南に臨み、大自然に恵まれた緑の田園地帯に、緑豊かな美しいキャンパスと国が誇る最新施設・設備の壮大な岐阜大学が築かれております。「学び、究め、貢献する大学」の理念のも



後藤会長



と、さらなる教育・研究の高度化と個性化を図り、地域・産業・国・国際社会に役立ち貢献する国立大学のトップランナーたる活力ある大学をめざして、森学長はじめ全先生方は最高・最善のご努力をされています。特に平成16年に国立大学法人岐阜大学となってから、岐阜大学は一段と大きく改革・発展をしており、これら変革・発展への対応のために同窓会は母校への協力と支援がますます重要となっています。

そもそも岐阜大学同窓会連合会の目的は、岐阜大学の各学部同窓会の連合組織として、大学との連合組織として、大学との連携および学部同窓会相互の交流を図り、大学および学部同窓会の発展に貢献することにあります。この目的を達成するために必要な事業は各同窓会の独立性を尊重し、全学協力体制で推進して参ります。最初の事業として、この連合会設置記念式典・祝賀会を実施しました。今後の事業の計画は連合会で協議して実施して参ります。

ここで私の希望としまして、岐阜大学創立60周年を機に設立された「岐阜大学基金」への協力を、連合会の事業として推進して参りたく存じます。これには、卒業生の皆様へ、岐阜大学の現状と将来の情報をお伝えし、連合会の設立をお知らせして、その事業の中で「岐阜大学基金」へのご協力をお願いすることにあります。今後とも、会員の皆様のご指導・ご協力・ご支援をいただいで事業を進めて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、岐阜大学医学部記念会館の素晴らしい会場で盛大に記念式典・祝賀会の開催ができましたこと、青木医学部同窓会長はじめ関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げますと共に、母校・岐阜大学、各同窓会、そして連合会のますますの発展を祈念し、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

合掌





## 同窓生メッセージ <敬称略>

**日本社会に明るい展望をもたらす。** 安藤 征治 学芸学部(後の教育学部) 1966年卒業

岐阜大学が昭和24年に新制大学として発足以来、数々の変遷を経て60周年を迎え、現在の隆盛を見るに至ったことを卒業生の一人として大変うれしく思います。またこの機に、6万余名の同窓生が学部の枠を越えて大同団結を図るために「岐阜大学同窓会連合会」が設立されますことを、重ねて慶びたいと思います。

社会は、教育・医学・工学・農学などさまざまな分野の総合体です。願わくば、岐阜大学の同窓生がこうした各分野の連結の役割を果たし、現下の厳しい日本社会に明るい展望をもたらすために寄与することができれば望外のよろこびです。そのためにも、同窓会連合会あげて、母校岐阜大学の一層の発展と後輩学生の成長のために連携・協力することを互いに誓いたいものだと思います。



**一層開かれた岐阜大学へ。** 浅井 彰子 地域科学部 2001年卒業/森の会(地域科学部同窓会) 会長

私は1999年に地域科学部に3年次編入し、主婦業とアナウンサーとしての活動をしながら学部と大学院に合わせて4年通いました。わが子とさほど年の違わない学生さんたちに刺激を受けながらの楽しい学びの日々でした。現在は、岐阜大学で学んだ発達心理学の分野での仕事も含めて、バラエティに富んだ毎日を過ごしています。

このたび、創立60周年の記念すべき年に同窓会連合会が設立されましたのは大いに意義のあることと存じます。これを機に、同窓生と母校とのつながりがますます深くなり、さらに、キャンパスで学ぶ学生さんたちだけではなく、市民にとっても一層開かれた大学として発展していくことを願っています。

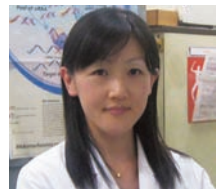


**岐阜大学から世界へ、情報発信。** 松橋 彩 医学部医学科 2002年卒業

岐阜大学が創立60周年を迎え、同窓会連合会が設立されたことを大変うれしく思います。

私は岐阜大学医学部を卒業後、整形外科に入局し、現在は大学院で骨軟部腫瘍についての研究をしています。医学部・附属病院が黒野キャンパスに統合されてからは他学部の先生のご指導を仰ぐことや共同研究も容易になり、より多角的な視野からの研究が可能になりました。目から鱗の落ちるような発想で助言いただいたり、新しい実験手技を教えていただいたり、人と人とのつながりがいかに大切かを実感しています。

同窓会連合会での交流が、今後きっとさまざまな分野で岐阜大学の大きな力となっていくことと思います。岐阜大学から世界へ、情報を発信すべくこれからも努力していきたいと思っています。



**現在に生かされている大学生生活。** 折戸 友香 医学部看護学科 2005年卒業

同窓会連合会設立おめでとうございます。

在学中のことを振り返ると、看護実習や研究など苦労した思い出が多くあります。しかし、サークル活動や文化祭など、看護学科だけではなく他の学部との交流や取り組みが充実しており、忙しい中でも楽しく過ごした大学生生活であったと思います。その中で学んだことは多く、看護師・保健師・助産師などとして、医療機関や企業、そして地域で働く現在に生かされていると感じます。

長い岐阜大学の歴史の中で、それぞれの学部が集まり連合会が設立されるということは、今後の岐阜大学のより一層の発展が期待されるものと感じ、その中に参加することができてうれしく思っています。



**今後の連合会の発展を確信。** 小塚 忠 岐阜工業専門学校(後の工学部) 1949年卒業/工業倶楽部(工学部同窓会) 関東支部長

私は工専の昭和24年卒です。海軍兵学校で終戦を迎えた私は、祖国再建に全力を傾ける決意で、戦災で全焼した実家に帰りました。岐阜工専は、その願いをかなえる第一歩でした。在学中には大学昇格資金集めなどに全員が真剣に取り組んだことを思い起こします。

今回、連合会記念式に出席し、柳戸キャンパスをひと回りしてその充実ぶりに目を見張りました。準備段階では、各学部の事情はそれぞれ異なる聞いていましたが、今回の式典で、各学部代表者全員が全面協力を表明されたことで、今後の会の発展を確信することができました。私も微力を尽くしたいと考えています。



**設立の経緯を忘れないことが大切。** 阿閉 泰郎 農学部獣医学科 1977年卒業/各務同窓会(応用生物科学部同窓会) 幹事長

6つの学部同窓会は岐阜大学同窓会連合会の礎です。各学部同窓会はお互いに独立性を有しており、連合会は学部同窓会の緩やかな連携組織に過ぎません。また、連合会の主体は卒業生であることは言うまでもありません。連合会の運営は学部同窓会の視点に立ち、学部同窓会の理解を得ながら、そして学部同窓会に有益性をもたらすものでなければなりません。

連合会は6月1日に紆余曲折を経てどうにか出発はしましたが、そもそも連合会は岐阜大学からの要望により検討し始めたものであり、連合会は学部同窓会に対し十分な理解を得られていないのが実情です。学部同窓会はそれぞれ独自の歴史を有しており、活動内容も異なっています。連合会は絶えず設立の経緯を忘れないことが大切であり、この理解が同窓生一人ひとりに行き渡ることこそ、連合会として長続きする秘訣なのです。

